

## 財団法人茨城県建設技術公社

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	大津典昭(常勤)	所管部(局)課	土木部検査指導課	
所在地	茨城県水戸市笠原町978番25	電話番号	029-301-6600	
ホームページURL	http://park5.wakwak.com/~kensetu/	E-mailアドレス	t-sato@kennsetu-gijutu.or.jp	
資本金(基本財産)	74,175千円	設立年月日	昭和63年4月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	(社)茨城県建設コンサルタント	59,235千円	79.9%
	2	茨城県	10,000千円	13.5%
	3	県内市町村	4,940千円	6.7%
	4		千円	0.0%
	5		千円	0.0%
その他	団体		千円	0.0%
設立的	茨城県建設技術公社は、建設行政の円滑かつ効率的な執行の推進と技術の向上を図るため、社団法人茨城県建設コンサルタントを発展的に解消して設立され、茨城県内における建設行政補完のため、技術の研修、協力、調査、研究、受託等を行い、もって茨城県内における建設事業の推進を図り、住民福祉と地域の振興発展に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 建設事業に関する技術・技能の研修	4,500千円	・市町村職員建設技術研修(道路, 災害復旧, 都市計画, 下水道, 建設CALS/EC) ・市町村職員海外研修 市町村職員の資質と技術の向上に貢献
事業2 建設事業に関する測量, 設計, 積算, 製図及び工事施工管理の受託	2,250,000千円	特に技術者の不足する市町村に対する技術支援に貢献
事業3 建設事業に関する発注者支援	500,000千円	・エコフロンティアかさま下水道整備事業 入札契約適正化法に基づく発注者責任に対する支援業務として貢献

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	4	1	3	3	0	3	3	2	1
	非常勤理事	7	0	0	8	0	0	8	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	2	0	0
	計	14	1	3	14	0	3	13	2	1
職員	管理職	22	0	0	23	0	0	22	0	0
	一般職	91	0	0	92	0	0	87	0	0
	臨時職員	24	0	0	23	0	0	22	0	0
	嘱託職員	33	0	0	7	0	0	7	0	0
	計	170	0	0	145	0	0	138	0	0
当期常勤職員の年齢構成	30代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	5	24	33	47	109	46歳3月	20年5月			

## [収支の状況]

財団法人茨城県建設技術公社

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	3,168,412	3,032,547	3,469,213
	事業収入	3,163,545	3,025,966	3,463,564
	事業外収入	4,867	6,581	5,649
	支出合計	3,070,134	2,946,239	3,492,623
	事業支出	2,877,638	2,832,240	3,429,087
	事業外支出	192,496	113,999	63,536
	うち管理費	201,875	225,218	205,418
	うち人件費	1,286,824	1,326,228	1,214,432
	当期収支差額	98,278	86,308	-23,410
	正味財産増加額	162,875	110,170	208,209
	正味財産減少額	173,730	173,326	170,967
	当期正味財産増減額	87,423	23,152	13,832
	前期繰越正味財産	2,033,326	2,120,749	2,143,901
期末正味財産	2,120,749	2,143,901	2,157,733	
財 産 の 状 況	資産	4,226,166	4,217,052	3,970,633
	流動資産	2,168,867	2,167,544	1,933,482
	固定資産	2,057,299	2,049,508	2,037,151
	負債	2,105,416	2,073,150	1,812,899
	流動負債	973,680	885,468	671,816
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	1,131,736	1,187,682	1,141,083
	うち長期借入金			0
正味財産	2,120,750	2,143,902	2,157,734	

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	0	0
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

## [平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

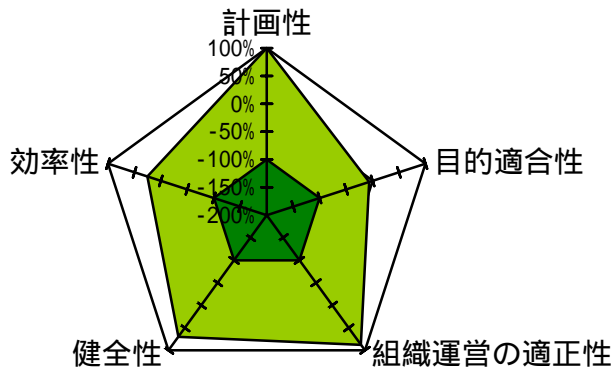
[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	-1	14	-7.1%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	28	40	70.0%
効率性	8	7	28	25.0%
合計	32	49	98	50.0%

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>当財団が受託している「民間事業者への発注が好ましくない公共事業等の積算業務」は、土木行政の補完的役割を果たしていると認められる。しかしながら、その他の民間事業者への委託が可能な事業については、県としても発注改善を図るべきである。                  昨年、公益事業の拡大を含め、設立目的を踏まえた公社のあり方について検討を進めるべきであると指摘したところであり、財団としても上記視点を踏まえ、より具体的に削減目標を定め事業計画に織り込む必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>県が当財団へ委託している業務は、「公共工事の積算業務等、県の固有業務を代行補完するもので、守秘性・公正性が求められる業務など」であり、発注に当たっては個々の業務において委託の妥当性を検証するよう土木部内発注機関を指導している。</p> <p>また、公社のあり方については、平成15年度末に当財団で策定した経営行動計画に基づき、公共工事の品質確保を促進するため発注者支援業務として、市町村等の公共工事のIT化、施工管理、検査等を支援する体制の整備を図り、効率的な運営に努めるよう指導していく。</p>

< 財団法人茨城県建設技術公社 から県民のみなさまへ >

公共工事の発注者は、「公正さを保ちつつ良質なモノを低廉な価格でタイムリーに調達し提供する責任」(発注者責任)を有しており、平成13年4月「公共工事の入札・契約の適正化の促進に関する法律」が施行されたことにより、公共工事の透明性、説明責任、発注者としての技術力が強く求められています。特に技術職員の不足している市町村においては、適切な監督・検査体制の確保が求められています。

当財団は昭和63年設立以来、発注者の補完機関として公正性、中立性及び守秘性を有し、県内唯一の発注者支援を目的とした財団であります。今後は平成15年度末に策定しました「茨城県建設技術公社経営行動計画書」に基づき、各発注者の支援体制の整備を図るとともに、効率的な運営に努めてまいります。

平成17年2月 理事長 大津 典昭

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
事業を受託事業を主体とするため, 年次計画と実績を定期的に検討している。	市町村職員に対し, 建設事業に関する技術・技能の各種研修の実施や, 県, 市町村等からの建設事業に関する設計, 積算及び施工管理などの各種事業を受託しており, その目的に適合している。なお, 現在は, 市町村技術職員の不足や入札契約事務の適正化の観点から, 当公社に支援要請が多くあり, 発注者支援体制の整備を推進している。	自主的に情報の開示に努め, 組織運営の透明性を高めている。	厳しい経済情勢に対し, 積極的に経費の削減に努め, 健全な経営に努めている。	職員の高年齢化が効率性の阻害要因になっており, 今後は喫緊の課題となっているITの推進に対応するための職員を確保するとともに, さらに発注者支援業務を発展させるため, より総合的な技術力を有する人材の育成, 確保に努めて, 公社の活性化と効率性を高める必要がある。
今後の事業展開の方向	<p>現在, 「入札契約適正化法」の施行に伴い, 公共工事を実施するうえでの透明性や説明責任など, 発注者としての責任が義務づけられている。</p> <p>一方市町村においては, 土木技術者の不足などにより, 公共工事の調査, 積算, 施工管理及び検査等を実施するうえで, 多くの課題がある。</p> <p>今後も, 公共事業における発注者へのサポートを通じて, 公共事業執行における公社の果たすべき役割とその必要性をPRするとともに, 発注者支援に関する必要技術の開発に取り込んでいく。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画の定期的なチェックに努め, 計画的に事業が実施されている。また, 中長期計画として平成16年2月に経営行動計画が策定されている。	県, 市町村の受託業務を行い, 公共事業の補完機能を果たしている。	人員構成が高齢化しているため, 長期的な計画で職員採用等を図る必要がある。情報開示や会計規程の見直し等, 適正な組織運営に努めている。	経費の削減に努め, 健全な経営に努めている。	職員の高齢化対策及びITの推進に対応する職員の確保等, 効率性を高める必要がある。
	推進事項		取組み状況	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	<p>引き続き, 民間と競合する測量などの受託事業について削減します。</p> <p>経営懇談会等において, 公益法人としての公社の将来のあり方について検討します。</p> <p>「発注者支援制度」の整備・確立を図る観点から, 今後の新たな業務として, 市町村に対するIT化支援体制, 施工管理, 検査体制の構築を検討します。</p>		<p>民間と競合する測量業務の受託は, 大幅に削減している。(平成8年度7億円, 平成14年度1億2千万円, 平成15年度8千万円)</p> <p>また, 公社の将来のあり方についての検討, 「発注者支援制度」の整備・確立を図るため, 経営行動計画を策定した。</p>	
法人担当課の意見	<p>行革大綱及び経営評価結果に対する取組については, 上記のとおり積極的に進めている。特に平成16年度から経営行動計画を策定し, 公社の役割, 課題等を明確にしたところであり, 今後はその計画に基づき, 建設マネジメント方式による新たな発注者支援体制の確立等, 実施状況を定期的に検証することを希望する。</p>			